

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	① 幹線道路の整備	建設環境課
施策の展開方向	●日常生活において、安全かつ快適で円滑に移動できる環境を提供するとともに、災害時におけるライフラインを確保するため、幹線道路の整備を推進します。 ●幹線道路の渋滞緩和に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
橋梁補修・耐震工事【%】	-	73.0 対前年増減→	88.0 +15.0	92.0 +4.0	95.0 +3.0				100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① ライフラインの確保に係る道路橋梁の整備 【取組の概要（背景・目的等）】 町が管理する道路橋梁（全23橋）において、5年に一度の定期点検を実施することで、健全度を把握し、維持管理に努めるとともに、早期措置段階と認められた橋梁については、補修などを実施し長寿命化を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 令和3・4年度で実施した2巡目の道路橋梁定期点検結果を基に、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを実施しました。また三軒屋橋においては、橋梁の補修設計業務を実施し、橋梁の長寿命化を目的とした補修設計を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・橋梁長寿命化事業：12,320千円	A	【今後の取組方針】 令和3・4年度の橋梁定期点検結果で健全度判定（Ⅲ）となった2橋において、長寿命化に向けた補修設計及び工事を進めていきます。 3巡目の橋梁定期点検を令和8・9年度に控えていることから、実施に向けた準備を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	① 幹線道路の整備	まちづくり推進課
施策の展開方向	●日常生活において、安全かつ快適で円滑に移動できる環境を提供するとともに、災害時におけるライフラインを確保するため、幹線道路の整備を推進します。 ●幹線道路の渋滞緩和に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
服部台明星線（服部記念病院前～奈良友誼会病院前）事業進捗率【%】	-	50.0 対前年増減→	50.0 ±0	79.2 +29.2	100.0 +20.8				100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	都市計画道路の整備		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 安全で快適に移動できる道路環境・道路網の整備を推進します。 【実施内容・成果（R05）】 上牧交差点の交通渋滞が緩和されるとともに、主要施設へのアクセス性の強化と交通の円滑化を図るため、町道下牧高田線と県道中筋出作川合線とのバイパスとなる服部台明星線を開通しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・服部台明星線道路改良事業：93,100千円（繰越）		A	【今後の取組方針】 当町の都市計画道路の未整備路線は、県決定路線の2路線であり、都市計画道路の見直し検証した結果存続路線に位置付けられているため、今後事業実施してもらうよう県に要望していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	② 公共交通の利便性向上	まちづくり推進課
施策の展開方向	●地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を継続するとともに、コミュニティバスをより身近で、より便利なサービスとして認知していただくため、利用促進に取り組みます。 ●町民や利用者、交通事業者、行政関係者など関係する主体により地域課題に対する検討を行い、民間バスとの接続の円滑化など、よりよい地域公共交通の実現に向けて取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町地域公共交通会議開催数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0				2
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 上牧町地域公共交通会議の開催		総合戦略 基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 持続可能な地域公共交通の形成に資する、地域公共交通の活性化に取り組みます。 【実施内容・成果（R05）】 庁内の公共交通関係部局（総務課、福祉課、生き活き対策課）とともに課題の洗い出しを行い、検討を行う内部検討会を実施しました。大小様々な課題がある中で、公共交通機関などと共有すべき課題をより明確にする必要があります。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 鉄道駅のない上牧町にとって、公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズを把握すること及びそのニーズや課題解決に取り組む協議会を組織する必要性があります。 【今後の取組方針】 県内外の他市町村の取組事例を調査・研究し、協議会の運用方針を固めると同時に、第二回庁内検討会を開催し、一定の課題提起を行います。 また、その課題解決や公共交通機関などの協議を目的とした上牧町地域公共交通協議会の構成する委員になっていただけるかたにアプローチをかけ、令和7年度以降に協議会の発足及び会議の開催を目指します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	② 公共交通の利便性向上	総務課
施策の展開方向	●地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を継続するとともに、コミュニティバスをより身近で、より便利なサービスとして認知していただくため、利用促進に取り組みます。 ●町民や利用者、交通事業者、行政関係者など関係する主体により地域課題に対する検討を行い、民間バスとの接続の円滑化など、よりよい地域公共交通の実現に向けて取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
コミュニティバス延べ利用者数（年間）【人】	○	42,699 対前年増減→	54,747 +12,048	66,141 +11,394	79,229 +13,088				60,000
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① コミュニティバスの利用促進		総合戦略 基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 コミュニティバスの存在の周知及び利便性の向上を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 住民からの「昼間の時間も運行してほしい」という声や服部台明星線の開通を受けて、ダイヤの改正及びバス停の増設を行いました。これにより、令和5年9月2日から昼間の時間（ほほ笑み号 12：22～13：30・ペガサス号 12：15～13：30・ささゆり号 12：13～13：23）もコミュニティバスの利用が可能になり、バス停を増設したことで、より幅広く利用してもらうことが可能となりました。 【事業費（決算額：R05）】 ・コミュニティバス運行事業：31,156千円	A	【今後の取組方針】 住民からの様々な要望や運行中に生じる課題について、今後も引き続き研究していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	③ 生活道路の整備	建設環境課
施策の展開方向	●生活道路の舗装維持工事の整備を推進します。 ●町内各生活道路の維持・管理に努めるとともに、要改修箇所の整備に努めます。 ●自転車の通行空間における安全面の確保に向けて、自転車優先道路の整備等に向けた検討を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
道路舗装【km】	-	22.0 対前年増減→	24.1 +2.1	26.0 +1.9	28.3 +2.3				40.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 計画的な道路修繕の実施		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 道路整備について、舗装の長寿命化を図るため個別施設計画及び自治会要望を勘案し、道路環境及び道路網の整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 車道舗装の個別施設計画の見直しを実施しました。車道舗装においては、路線数11路線、累計延長2.3kmの舗装修繕を実施しました。また、歩道の舗装修繕として延長1.2kmの補修設計業務を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・道路長寿命化事業：109,529千円	A	【今後の取組方針】 引き続き車道の整備については、個別施設計画及び自治会要望を勘案し、道路環境及び道路網の整備を進めていきます。 歩道修繕事業についても個別施設計画に則り、計画的に歩道の舗装修繕を進めていきます。
取組② 自転車優先道路の整備等に向けた調査・研究		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 自転車の通行空間における安全面の確保に向けて、自転車優先道路の整備などに向けた検討を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 自転車道の整備について、他市町村の動向を注視するとともに、県管理課との調整及び警察との協議を行い、実施の有無及び規模などについて勘案しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	B	【課題】 滝川遊歩道の整備工事が実施され、右岸側に自転車優先道が整備されましたが、現道との交差点、取合い部（県道横断部、町道横断部、始点終点部）において、自転車優先道としての検討及び整備が残されている状態です。 【今後の取組方針】 自転車優先道路としての範囲やルート及び起終点における隣接する自治体との協議を実施し、計画策定に向けた取組を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-1 交通体系	担当課
	④ 交通環境の改善	建設環境課
施策の展開方向	●通過交通の多い道路については、歩道の設置に向けた検討または設置の要請を行います。 ●狭あい箇所や見通しの悪いカーブ、交差点等の改良を進めるとともに、道路の維持管理に努めます。 ●違法駐車や放置自転車の取り締まりと啓発を進めます。 ●植樹帯や街路樹、フラワーボットを設置するなど、快適で心地よい道づくりを進めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
交差点交通安全対策（バリカー設置）【%】	-	-	47	68	82				100
		対前年増減→	+47.0	+21.0	+14.0				
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内の危険箇所への交通安全設備の設置		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 通過交通の多い道路、交差点において、安全面での改良を進めるとともに、道路の維持管理を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 ・交差点防護柵設置 N=1箇所（桜ヶ丘安達医院交差点） ・カーブミラー設置 N=8基（服部台×3、葛城台×3、ゆりが丘×1、大字上牧×1） ・カーブミラーの管理識別番号の掲示 【事業費（決算額：R05）】 ・交通安全対策事業：2,930千円 ・道路水路維持管理事業：859千円	A	【今後の取組方針】 交通量の多い交差点部において、車両の逸走時の安全対策として、物理的な歩行者の安全対策を実施し、安全で安心な通学環境を整える工事を進めていきます。
取組② 道路空間の環境改善		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 施設の維持管理・修繕を計画的に実施し、安全、快適に移動できる道路空間の形成を目的とした整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 ・交通安全施設工事 区画線設置・復旧（主要路線） 3,120m 【事業費（決算額：R05）】 ・道路水路維持管理事業：1,918千円	A	【今後の取組方針】 道路施設の老朽化が進行しているなか、施設の維持管理・修繕を計画的に実施し安全、快適に移動できる道路空間の形成を目的とした工事を進めていきます。 歩道の無い道路の路肩や信号のない交差点部について、カラー化などにより車両と歩行者との通行空間を視覚的に分離することで通行車両の速度抑制を図り、歩行空間の環境改善を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
施策の展開方向	① ごみの減量化・資源の再利用	建設環境課
●3R【「リデュース（ごみになるものを減らす）」「リユース（繰り返し使う）」「リサイクル（資源として再び使う）」】を積極的に呼びかけ、適正な分別により家庭から排出されるごみを減らすように努めます。 ●資源化やリサイクルに関するイベントの実施を通じて住民の意識向上を図るとともに、民間事業者と連携しながら、循環型社会の実現に向けて取り組めます。 ●生ごみの有機肥料化への取組に対して積極的な支援を行います。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
可燃ごみの収集量（年間）【t】	-	3,431 対前年増減→	3,435 +4	3,344 -91	3,244 -100				2,717
再生資源集団回収量（年間）【t】	-	719 対前年増減→	695 -24	656 -39	590 -66				941
資源ごみの収集量（年間）【t】	-	193 対前年増減→	171 -22	187 +16	213 +26				198

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① ごみの分別・減量化の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 ごみの分別及びごみの削減について周知徹底し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を目指します。 【実施内容・成果（R05）】 ボカシ菌の配布を行い、生ごみの削減に努めました。 パケツ新規配布量：（R5年度：33個、R4年度：27個、R3年度：49個） 家庭からでる不用品をリユースする目的で、フリーマーケット（ペガサスフェスタ）を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 フリーマーケットについては、店舗数を増やすなどの工夫をし、3Rの周知に努めます。 ボカシ菌の配布については、今後も継続して行います。
取組② 資源物分別の啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 廃棄物のうち、資源物としての排出割合を増やし、ごみの減量と温室効果ガス削減を目指します。 【実施内容・成果（R05）】 ㈱パイロットコーポレーションと連携し、使用済み筆記具の回収を開始しました。（回収したものは同社にてリサイクルされます。） 使用済みインクカートリッジ回収ボックスの設置場所を1カ所（役場建設環境課前）から3カ所に増設しました。（増設場所：2000年会館口ビー、片岡台出張所） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 町民だけでなく、町内事業所へごみ削減や分別についての周知を行います。
取組③ ごみの分別・減量化に向けた情報の発信 【取組の概要（背景・目的等）】 ごみの分別・減量化について、広報などで発信することで、ごみの減量を目指すほか、分別の間違いなどのトラブルを防止します。 【実施内容・成果（R05）】 広報での啓発を行いました。 ・草木の捨て方について、乾燥後廃棄する旨の記事を掲載。（8月号） ・食品ロス削減啓発記事を掲載。（10月号） ・生ごみの水切りについての記事を掲載。（12月号） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 引き続き広報やSNSを通じて、ごみ減量に向けた記事を掲載します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
	② ごみ収集体制の構築・充実	建設環境課
施策の展開方向	●再資源化への取組を強化するうえで、2025年（令和7年）からはじまる広域ごみ処理施設の稼働にあわせて、適切なごみの分別収集を推進します。 ●広報などを通じて、ごみの分別収集の徹底を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	広域ごみ処理施設の運営		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 令和7年度から山辺・県北西部広域環境衛生組合のごみ処理施設が稼働することに伴い、同組合に準じた分別方法や持込方法にしていきます。 【実施内容・成果（R05）】 同組合に準じた分別回収方法にしています。 【事業費（決算額：R05）】 ・山辺・県北西部広域環境衛生組合事業：354,356千円		A	【今後の取組方針】 ごみ分別冊子「上牧町のごみの分け方&出し方」を山辺・県北西部広域環境衛生組合の分別基準に合わせ刷新します。 スプレー缶の分別について取り決め、周知を行います。
取組②	ごみ収集サービスの見直し・検討		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 ステーション方式とふれあい収集の両収集体制で、ごみ出し困難者が出ないようにしていきます。 【実施内容・成果（R05）】 概ね65歳以上の要介護2以上の希望者がふれあい収集を利用しています。（令和5年度新規：9人、令和4年度新規：9人） 利用日にごみが排出されていない場合、利用者などに電話をし、安否確認を行いました。 広報9月号でふれあい収集実施内容について掲載しました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		B	【課題】 高齢化に伴い収集体制の見直しが望まれます。 【今後の取組方針】 当面は、引き続きステーション方式とふれあい収集の両体制で実施していきます。 戸別収集に関しては、高齢者の排出負担が軽減される一方、作業量が増えることで、人員不足や収集経費が増大するなどの問題点があることから直近での実施は困難ですが、将来の実現に向けて検討を重ねていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実	まちづくり推進課
施策の展開方向	●静香苑及び町営墓地の適切な維持管理に取り組みます。 ●静香苑の利用者ニーズに応じた利用方法等の見直しを行い、より充実したサービスの提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	町営墓地の維持管理の充実		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町営墓地の適切な維持管理と利用者のためのサービス向上に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 定期的な巡回パトロールを行いました。 維持管理については、墓地敷地内の通路溝の清掃や樹木の剪定伐採を実施しました。 ・樹木剪定 維持管理（敷地内通路及び溝の清掃、樹木剪定） 年1回 8月実施 ・職員による定期的な巡回パトロール（不法投棄や樹木の成長具合確認） 月1回 【事業費（決算額：R05）】 ・町営墓地維持管理事業：839千円		B	【課題】 未使用墓地に関する希望者への周知が図れていません。 【今後の取組方針】 使用資格のある要望者に対し、使用許可を行っていきます。 また、住民への周知方法として広報掲載・ホームページ掲載・チラシ配布なども検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-2 環境衛生	担当課
	③ 斎場・墓地の運営及び維持管理の充実	建設環境課
施策の展開方向	●静香苑及び町営墓地の適切な維持管理に取り組みます。 ●静香苑の利用者ニーズに応じた利用方法等の見直しを行い、より充実したサービスの提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	静香苑の利用者ニーズに応じた管理運営体制の充実		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 構成3町（王寺町・河合町・上牧町）の利用者の要望に対し、検討しながら適切な運営管理を行います。 【実施内容・成果（R05）】 令和4年度は草刈り（3回）及び樹木の剪定（1回）を業者に依頼していましたが、令和5年度は職員によりこまめに草刈りならび樹木の剪定を行ったことで、より景観が保持されたとともに、費用負担がなくなりました。 【事業費（決算額：R05）】 ・静香苑環境施設組合事業：29,891千円		A	【今後の取組方針】 令和6年度は火葬炉維持管理年次計画のとおり次の作業を行います。 ・火葬炉設備修繕 ・火葬炉大規模修繕 ・空調設備修繕工事 ・高圧交流賦課開閉器コンデンサ等更新工事 ・自動ドア装置更新工事 ・公用車購入 ・ホームページリニューアル ・式場全面利用システム改修 ・例規整備業務（個人情報安全管理措置関連等） ・法要室レースカーテン取替 現在は住民からの要望はありませんが、要望があればできる限り柔軟に対応したいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
① 良好な住環境の確保		まちづくり推進課
施策の展開方向	●快適な住環境の整備を図るため、県及び町の開発指導要綱に基づいた適切な土地利用を推進します。 ●安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。 ●人口減少に伴い増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源として活用に取り組むことで、地域課題の解決や移住・定住促進につなげます。 ●入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
既存木造住宅耐震改修補助件数（年間）【件】	-	- 対前年増減→	- ±0	2 +2	1 -1				2
空き家・空き地バンク登録件数（累計）【件】	○	4 対前年増減→	4 ±0	4 ±0	6 +2				15
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 既存木造住宅の耐震化促進 【取組の概要（背景・目的等）】 安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度においても町内の既存木造住宅について耐震診断・耐震改修の補助事業を実施し、耐震診断については5件、耐震改修については1件の申請について補助を実施しました。 【事業費（R05）】 ・住宅耐震促進事業：750千円	A	【今後の取組方針】 既存木造住宅の耐震診断及び改修の必要性について、引き続き周知を行います。 令和6年度以降についても、耐震診断・耐震改修の補助事業を実施します。
取組② 空き家利活用の推進 【取組の概要（背景・目的等）】 増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源としての利活用に取り組めます。 【実施内容・成果（R05）】 空き家・空き地バンクへの物件の登録について、空き家所有者などからの新規相談が7件あり、所有者立会いの下での現地調査は4件行いました。その内2件が、上牧町空き家バンクへの登録に至りました。 空き家・空き地バンクの物件の利用登録について、新規相談が11件、利用登録が2件ありましたが、新たに活用先として見つかった物件はありませんでした。 【事業費（決算額：R05）】 ・空き家等対策事業：284千円	B	【課題】 利用者ニーズと登録物件内容を確認し、マッチングしやすい状況を作る必要があります。 【今後の取組方針】 引き続き空き家コンシェルジュの協力のもと、利用者ニーズに合いやすい登録物件所有者に適宜金額などの条件内容の変更を促していきます。 また、登録件数がまだまだ少ないことから、空き家所有者に対して上牧町空き家バンクへの登録を促すアンケートを随時実施していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
	① 良好な住環境の確保	企画財政課
施策の展開方向	●快適な住環境の整備を図るため、県及び町の開発指導要綱に基づいた適切な土地利用を推進します。 ●安全で安心できる住環境の整備を推進するため、一般住宅の耐震化普及啓発や耐震補助などを行います。 ●人口減少に伴い増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源として利活用に取り組むことで、地域課題の解決や移住・定住に努めます。 ●入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数（年間）【回】	○	3 対前年増減→	5 +2	3 -2	2 -1				4
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	UR都市機構等関係者との協議		総合戦略 基本目標. 2
【取組の概要（背景・目的等）】 入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。 【実施内容・成果（R05）】 西大和片岡台団地において、高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担う生活支援アドバイザーが令和3年度から配置されたことに伴い、活動状況の報告をいただきました。また、都市計画についての内容など、近隣のURの動向など、情報交換を行いました。 《生活支援アドバイザーの活動》 防犯セミナー・健康体操、笑いと健康体操、折紙講座、モルックサークル活動、健康講座 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		B	【課題】 生活支援アドバイザーの設置など、高齢者向けの施策については、一定程度進んでいますが、若者世帯向けの施策についての取組が必要です。 【今後の取組方針】 引き続き、UR都市機構と連携し、若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度や若者に好まれる環境整備など、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望などを行います。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-3 住宅	担当課
	② 町営住宅等の適正な管理運営	まちづくり推進課
施策の展開方向	●ライフサイクルコストの削減を目指し、「上牧町営住宅長寿命化計画」に基づく予防的保全管理、長寿命化に資する改善を実施します。 ●町営住宅の状況や将来に対する見通しを踏まえ、町営住宅等の適切な管理運営に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
町営住宅管理戸数【戸】	-	422 対前年増減→	421 -1	421 ±0	421 ±0				380
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町営住宅等の適切な修繕・改善 【取組の概要（背景・目的等）】 町営住宅の経年劣化による修繕の見通しを考え、適切な管理を実現を目指します。 【実施内容・成果（R05）】 維持管理（修繕）について、適正に実施しました。 《維持管理（修繕）の件数》 町営住宅24件、改良住宅13件 （修繕内容：屋根雨漏り、壁修繕、排水管修繕等） 【事業費（決算額：R05）】 ・住宅管理事業：7,080千円	B	【課題】 空き家住宅に対して、適切な対応を行う必要があります。 【今後の取組方針】 町営住宅などの修繕履歴データベースを活用して空き家住宅の老朽化具合を確認し、除却を含めた運用に取り組んでいきます。
取組② 社会的特性を考慮したストックマネジメントの推進 【取組の概要（背景・目的等）】 町営住宅のライフサイクルコストの削減を目的に、住宅のストックマネジメントを形成します。 【実施内容・成果（R05）】 住宅のストックマネジメント形成に必要な町営住宅などの整備及び管理データを、住宅単位で整理しました。 管理データは、日常点検、定期点検、計画修繕及び緊急修繕などを反映し、データベース化しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・住宅管理事業：7,080千円	B	【課題】 上牧町営住宅等運営基本方針策定委員会を実施し、各委員とストックマネジメントの考え方を共有し、基本方針を策定していく必要があります。 【今後の取組方針】 管理データベースを活用し、委員会にて各委員とストックマネジメントの考え方を共有し、基本方針を策定していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-4 上水道・下水道	担当課
	① 安定した給水体制の構築	上下水道課
施策の展開方向	●安定した供給が行えるよう、施設の更新、耐震化、拡張等を計画的に推進します。 ●老朽化した施設については、維持管理体制を強化し、漏水防止などに努めます。 ●水道事業の適正な運営に努めるとともに、県域水道一体化の実現に向けた県及び関係市町村との調整を行い、持続可能な水道水の安定供給や水道料金の統一化を図ります。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
有収率【%】	-	94.0 対前年増減→	95.4 +1.5	95.2 -0.2	94.4 -0.8				94.3
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 県域水道一体化に向けての県及び関係市町村との調整		総合戦略 -
【取組概要（背景・目的等）】 人口減少社会の進展による水需要の減少などにより、水道事業を取り巻く経営環境は今後ますます厳しくなり、限られた資源の中、効率的で持続可能な水道事業経営が求められており、県内水道事業の課題を解決し水道の基盤強化のため、県及び市町村の広域連携実現を目的としています。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年3月6日の奈良広域水道企業団設立準備協議会で組織体制、企業団本部の位置、水道料金、施設整備の具体的計画など各案に対し協議が行われた結果、全ての案が可決されました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし	A	【今後の取組方針】 今後の取組については、令和7年度の企業団設立に伴う事業統合に向け引き続き、更に具体的な検討協議を進め円滑に事業統合できるよう努めていきます。
取組② 計画的な維持管理と更新		総合戦略 -
【取組概要（背景・目的等）】 管路更新工事を実施するため、更新対象となる管路を抽出し経年化の進む管路と、地震対策として耐震性能の低い管路を重点的に更新するため、更新計画を令和3年度に策定し、今後については、布設より40年以上で非耐震管路を対象とした更新工事を実施することを目的としています。 【実施内容・成果（R05）】 令和5年度においては、上牧交差点1・2工区及び中筋出作川合線における配水管更新工事を予定していましたが、再度配水管路を確認し、管種耐力及び布設年度・耐震性能を基に検討を行った結果、服部台地区の配水管布設替え工事を優先的に実施することが最良であると判断したことから、上牧交差点2工区配水管布設替え工事を服部台地区の配水管布設替え工事に振替て実施し完了しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・県道中筋出作川合配水管布設替事業：43,450千円 ・上牧交差点配水管布設事業：46,167千円 ・服部台地区配水管布設替事業：18,700千円	A	【今後の取組方針】 今後の事業においては、更新優先度の高い管路の中から施工実施予定箇所を再度精査選定し、円滑な事業実施を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-4 上水道・下水道	担当課
	② 下水道の普及	上下水道課
施策の展開方向	●現在実施している上牧町流域関連公共下水道整備については、未整備地区の整備を進め、早期完了を目指します。 ●下水道事業の健全経営に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共下水道普及率【％】	-	95.7 対前年増減→	96.1 +0.4	97.6 +1.5	97.8 +0.2				97.5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	下水道ストックマネジメント計画に基づく老朽化管渠の改築更新		総合戦略 -
【取組概要（背景・目的等）】 長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、優先順位づけを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を最適化することを目的とし施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 現在実施中の本計画については、令和2年12月に策定した改築計画に基づき、片岡台1丁目地区内において進めており、令和6年度の完成を目標とし取り組んでいます。令和5年度については、延長にして約663mが完成し計画どおり進められています。 【事業費（決算額：R05）】 ・片岡台1地区汚水管渠改築事業：66,000千円		A	【今後の取組方針】 令和7年度以降については、友が丘地区に着手します。
取組②	下水道事業公営企業会計の適用		総合戦略 -
【取組概要（背景・目的等）】 公営企業は、地域の住民サービスを担う企業であり、人口減少などによる料金収入の減少、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大など厳しさを増す経営環境を踏まえ、地方公共団体が公営企業の経営基盤の強化や財政マネジメントの向上などにさらに的確に取り組むために、公営企業会計の適用を目的としております。 【実施内容・成果（R05）】 下水道事業公営企業会計の適用に伴い、経営戦略の改定及び料金改定検討業務を実施し、料金改定に関する検討及び経費回収率の向上に向けたロードマップの作成を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 公営企業会計が独立採算制が基本原則となることから、料金改定に関する検討に取り組んでいきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-5 バリアフリー	担当課
① 面的・一体的なバリアフリー整備の推進		建設環境課
施策の展開方向	●障がい者はもとより子どもや高齢者などすべての人が安心して歩ける道路等のバリアフリー整備を進めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
歩道のバリアフリー整備状況 【m】	-	500 対前年増減→	500 ±0	500 ±0	500 ±0				1,140
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	主要道路のバリアフリー整備		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者はもとより、子どもや高齢者などのすべての人が安心して歩ける道路などのバリアフリー整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 バリアフリー重点整備地区内である町道下牧高田線約800mの区間（上牧交差点から友絃会病院）において、段差解消及び点字ブロックの整備を目的とした測量設計業務を予定していましたが、交付金の内示が悪く、業務の繰越しを余儀なくされました。 同じくバリアフリー重点整備地区である町道米山新町線内において、利用者及び歩行人の利便性の向上を図るため3箇所のバス停において、上屋の設置工事を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・地域公共交通環境整備事業：11,748千円		A	【今後の取組方針】 上牧町バリアフリー基本構想の策定及び上牧町バリアフリー基本構想特定事業計画の策定により、上牧町における特定事業が定められました。 これらの計画策定に伴い、下牧高田線及び米山新町線の歩道において、現道の幅員内での対策として歩道の段差解消及び点字ブロックの整備を進めていきます。
取組②	道路等と一体的な公共施設のバリアフリー化の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 障がい者はもとより子どもや高齢者など、すべての人が安心して利用できる公園のバリアフリー整備を進めていきます。 【実施内容・成果（R05）】 友が丘西公園において、出入り口が段数の多い階段と急な坂となっていたことから、新たな箇所にフラットな出入り口を設置しました。 また、各公園においてすべての人が安心して使用できるよう点検を行い、その結果に基づき維持修繕を実施しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・公園管理事業：1,891千円		A	【今後の取組方針】 今後も、出入口が急勾配な坂及び段数の多い階段など、対策が必要な公園についても、フラットな出入り口の設置について検討していきます。 維持修繕を実施するにあたり、すべての人が安心して利用できるように努めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-5 バリアフリー	担当課
施策の展開方向	② 共生社会実現に向けた心のバリアフリーの推進	福祉課
●障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律である「奈良県障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」に従った整備、調整等に努めます。 ●地域で障がいのない人も平等に共生することができるよう、きめ細やかな支援を実施します。 ●障がいのある人や高齢者、妊婦等が毎日の生活の中で暮らしにくくしているもの、困っていること（社会的障壁）を取り除くために、費用や労力等の負担がかかりすぎない範囲でできる支援について啓発を行います。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
手話養成講座受講者数（年間） 【人】	-	6 対前年増減→	6 ±0	10 +4	9 -1				10
ヘルプマーク配付数（累計） 【人】	-	114 対前年増減→	147 +33	221 +74	295 +74				300
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 心のバリアフリー意識の醸成 【取組の概要（背景・目的等）】 障がいのある人もない人も暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、障がい特性理解を啓発し、心のバリアフリー意識の醸成を図ります。 【実施内容・成果（R05）】 手話養成講座は入門編・基礎編を2か年のサイクルで実施しており、令和5年度は入門編を全24回開講し、10人(延べ203人)が受講、9人が修了されました。 上牧町手話言語条例を制定しました。制定に向けて当事者や関係団体に参画するワークショップの開催やパブリックコメントを実施し、パブリックコメントでは13件の提出をいただき、手話への理解と普及がさらに進むことや、子どもたちが手話に触れる機会の確保について特に期待するといった意見がありました。 民生児童委員協議会の定例会にて、手話言語条例及び成年後見制度に関する説明会を実施しました。（参加者33人） 障害理解促進啓発事業により「精神障害ってなんだろう」をテーマに住民講座を開催しました。（西和7町合同開催 参加：44人） 【事業費（決算額：R05）】 ・手話養成講座実施事業：400千円 ・障害理解促進啓発事業：20千円	A	【今後の取組方針】 社会福祉協議会や上牧町聴覚障害者協会と連携し地域で不足する手話通訳者の確保を目指し、受講者増につながる施策や、講座修了者へのさらなるスキルアップに資する取組を検討します。 手話言語条例に係る手話の普及を目指す施策（町広報紙に手話コーナーを毎月掲載、手話言語条例パンフレットの全戸配布、町内商業施設へ啓発ポスターの掲示、小学校での手話出前講座の実施、ベガスフェスタでの啓発イベントなど）に取り組みます。 障害理解促進住民講座については西和7町共同実施を継続しつつ、上牧町単独での障害理解促進啓発事業の実施に向けて計画します。
取組② 合理的配慮の推進・啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 障がいのある人もない人も暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて、合理的配慮推進・啓発に向けた取組を推進します。 【実施内容・成果（R05）】 障害者週間の期間中に、町立図書館にて合理的配慮理解促進に係る書籍やパンフレット、内部障がいや精神疾患などにより周囲に配慮を必要としていることを知らせる『ヘルプマーク』を展示するコーナーを設置し啓発活動を行いました。ヘルプマークについては計74人（令和4年度：74人）の申請がありました。 西和7町人権施策部会の取組の中で合理的配慮の事例集作成のための協議を継続しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・地域自立支援協議会運営支援事業：46千円	A	【今後の取組方針】 ヘルプマークの周知については、一層の認知と理解を深めるために、障害者週間期間中の啓発施策の拡大や期間外での取組方法などについて検討を行います。 合理的配慮の事例集について、役場窓口や障がい福祉サービス事業所、公共施設など幅広く配布し、啓発を推進します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	① 町民・団体・行政による自然管理	まちづくり推進課
施策の展開方向	●身近な緑を大切にするため、地域ぐるみの緑化運動や美化活動、里山保全活動を促進し、積極的な支援を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
遊休農地の活用件数（累計） 【筆】	-	1 対前年増減→	1 ±0	1 ±0	1 ±0				4
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	地域団体の活動支援		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 身近な緑を大切にするため、地域ぐるみの緑化活動や美化活動、里山保全活動を行う町民及び団体に対し積極的な支援を行います。 【実施内容・成果（R05）】 桜ヶ丘駐輪場花壇の会に、夏にはジニア150本、冬にはパンジー150本を植えてもらい景観保全に努めました。 農業委員会が米山台自治会と協働し、遊休農地（1筆）を利用して、地区の小学生以下対象のサツマイモの苗植え体験やイモ掘り体験を実施しました。 また農業委員会にて、整備が行き届いていない森林の所有者のかたへの通知や里山保全の認知活動を概ね月1回程度行うとともに、不法投棄などが行われていないかの調査も行いました。 「ら・かんまき・笹ゆり」については、笹ゆり植栽活動（役場前、上牧第二小学校、上牧第三小学校、上牧中学校、上牧第二中学校、金富公園、桜ヶ丘公園、上牧幼稚園、2000年会館東側土手、米山台いこいの広場）を行ってもらいました。 【事業費（決算額：R05）】 ・公共施設等美化緑化推進事業：23千円		B	【課題】 全ての団体の活動に対して、広報やホームページへ掲載するなどの周知活動を行う必要があります。 【今後の取組方針】 借り手のない遊休農地または町所有の土地で利用可能な土地をピックアップすることで全ての団体の活動を拡大することを検討し、これら以外の活動団体を募集し本事業の推進に努めていきます。また、このような活動に対し、地域の子どもたちの協力を得ながら推進していくことを教育委員会部局と協議していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	② 里山の保全	まちづくり推進課
施策の展開方向	●山林への不法投棄については、パトロールを実施するなど監視体制を強化します。 ●無秩序な開発行為に対する指導・規制を強化します。 ●山林の治山・治水・水源かん養※1等の公益機能を高めるための管理・保全体制を強化します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
森林所有者の森林管理・整備に関する意向確認進捗率【%】	-	- 対前年増減→	10.0 +10.0	10.0 ±0	10.0 ±0				50.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 森林環境譲与税を活用した森林の管理・整備		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 森林の有する公益的機能の維持増進や、森林の整備及び促進に資するため、森林環境譲与税を活用した森林の管理及び整備を行います。 【実施内容・成果（R05）】 整備が行き届いていない森林の所有者のかたへの通知や里山保全の認知活動を概ね月1回程度、農業委員会の協力のもと行いました。また同時に不法投棄などが行われていないかの調査も行いました。 上牧町の山林におけるイノシシ発生に伴い、里山の保全及び住民への被害を防ぐため猟友会協力のもと防除活動を行い、23頭のイノシシを捕獲しました。 上牧町アライグマ防除実施計画に基づき、4頭のアライグマを捕獲し奈良県家畜保健衛生所へ持ち込みました。 森林教育及び普及の観点から、森林環境譲与税を活用し町内小学校5年生全クラスの野外活動への研修費に充てました。 【事業費（決算額：R05）】 ・有害鳥獣被害防除事業：889千円 ・森林環境教育体験学習推進事業：150千円	B	【課題】 里山を保全することによる環境改善や防災対策、鳥獣対策などのメリットがあるということを森林所有者のかたに認知してもらう必要があります。 【今後の取組方針】 里山保全について町のHPや広報に掲載し、相続されていない森林や所有者不明の森林を少しでも減らすよう、農業委員会協力のもと周知活動を行っていきます。また、森林環境譲与税を活用し、森林所有者の森林管理・整備に関する意向調査を行います。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	② 里山の保全	建設環境課
施策の展開方向	●山林への不法投棄については、パトロールを実施するなど監視体制を強化します。 ●無秩序な開発行為に対する指導・規制を強化します。 ●山林の治山・治水・水源かん養等の公益機能を高めるための管理・保全体制を強化します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	定期的な環境パトロール・啓発活動の実施		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 不法投棄のないまちを目指し、パトロールや不法投棄撲滅についての啓発を行います。 【実施内容・成果（R05）】 定期的（毎週月曜日）にパトロールを行い、不法投棄の防止及び管理体制の強化に努めました。 不法投棄のあった場所は看板の設置及びパトロールの強化を行いました。 《令和5年度不法投棄件数》 6件（令和4年度：10件） （北上牧：タイヤ、ソファ、ついたて、棚、一輪車） （南上牧：棚） 《令和5年度看板設置件数》 6件（令和4年度：4件） （緑ヶ丘：1、松里園：1、葛城台：1、北上牧：2、桜ヶ丘3丁目：1） 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 引き続き定期的なパトロールを行うとともに、広報などを通じて「地域の目」で不法投棄を監視する体制について促進します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	③ 環境汚染の防止	建設環境課
施策の展開方向	●町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。 ●河川への生活排水の流入を防止するため、公共下水道の整備を進め多様な生物が生息する環境づくりを図ります。 ●河川の汚染を進める洗剤や薬品、油等の廃棄防止について、各家庭や各事業所への啓発を進めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 定期的な環境パトロール・啓発活動の実施			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。（週1回） 水質異常を防止するための啓発活動を行います。（毎年2月） 【実施内容・成果（R05）】 水質異常を防止するため、令和6年2月にラスパ西大和店にて啓発活動を実施し、大和川河川事務所から提供していただいたチラシ及びキッチンペーパーの配布を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		A	【今後の取組方針】 引き続き、町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。（週1回） 大和川流域における水環境の意識改善を促し、水質異常を防止するための啓発活動を毎年2月に実施していきます。
取組② 環境汚染に対する適切な対策の実施			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的）】 大和川クリーンデー及び大和川一斉清掃に合わせて滝川の一斉清掃を実施し、河川の環境汚染対策を進めていきます。（年2回） 【実施内容・成果（R05）】 令和5年7月の大和川クリーンデーに合わせて実施する滝川の一斉清掃では、滝川の近隣住民に対し広報及び自治会回覧を活用し参加を呼びかけ、7月8日（土曜日）に実施しました。19人のかたに参加していただき、約40kgのごみを回収しました。 令和6年3月の大和川一斉清掃に合わせて実施する滝川の一斉清掃では、上記同様に近隣住民に対し参加を呼びかけ、3月3日（日曜日）に実施しました。28人のかたに参加していただき、約160kgのごみを回収しました。 【事業費（決算額：R05）】 ・大和川流域総合治水対策事業：12千円		A	【今後の取組方針】 大和川一斉清掃、大和川クリーンデーの一環として、滝川の清掃を行います。広報及び自治会回覧を活用し、住民参加型としてボランティアのかたへの呼びかけを行い、3月と7月に清掃活動を実施していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	③ 環境汚染の防止	上下水道課
施策の展開方向	●町域のパトロールを実施し、環境汚染の未然防止と的確な実情把握に努めます。 ●河川への生活排水の流入を防止するため、公共下水道の整備を進め多様な生物が生息する環境づくりを図ります。 ●河川の汚染を進める洗剤や薬品、油等の廃棄防止について、各家庭や各事業所への啓発を進めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共下水道接続率【%】	-	96.3 対前年増減→	96.2 -0.1	94.8 -1.4	94.9 +0.1				98.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	各家庭における公共下水道への接続の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町内の公共下水道において、水洗化100%を目標としています。 【実施内容・成果（R05）】 町のホームページに公共下水道の接続義務についての説明文書を掲載しています。 また、未接続である家屋へ訪問し、対面での説明やポスティングによる啓発活動を行っています。 【事業費（決算額：R05）】 予算計上なし		B	【課題】 未接続家屋所有者の経済的な問題などにより、整備できていない状況となっています。 【今後の取組方針】 今後については、汚水が影響する環境汚染を考慮し、接続義務への理解を広く得るため、できる限り足を運んだ啓発活動を行い、公共下水道接続率向上に努めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	④ 景観緑化	まちづくり推進課
施策の展開方向	●かんまき笹ゆり回廊の整備を推進し、やすらぎと憩いのある緑地空間を整備するなど、良好な景観づくりや緑化に努めます。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】	○	47.0 対前年増減→	89.0 +42.0	89.0 ±0	89.0 ±0				100
まちのきれいさや騒音の少なさなど身の回りの環境に満足している町民の割合【%】	-	23.4 対前年増減→	- -23.4	- -	- -				75.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業 【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。 【実施内容・成果（R05）】 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いにある芝桜について、開花時期に合わせライトアップを行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・芝桜植栽維持管理事業：999千円	B	【課題】 上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開する必要があります。 【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、既存の回廊のルートについて広く町内外に周知し、現地でもルートを確認できる案内板を設置します。

総合戦略 基本目標、3

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境
令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	⑤ 公園緑地	建設環境課
施策の展開方向	●各地区にやすらぎや憩いのあるポケットパーク等の緑地空間を適切に配置します。 ●町内各公園緑地の適切な維持管理に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	定期的な緑地の維持管理		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 自治会の要望を順次伺い、公園緑地の草刈、樹木の消毒及び剪定などを適切に実施し、効果的にサービスを提供していきます。 【実施内容・成果（R05）】 公園緑地の維持管理については、5月～7月頃・9月～11月頃に年2回の草刈委託業務、5月頃・9月頃に年2回の樹木消毒業務、1月～3月頃に年1回の樹木剪定業務を実施しました。 町内の27箇所の町管理公園の内、4か所の公園にて台帳を整理し都市公園に認定いたしました。（ゆりが丘2号公園、ささゆり公園、南上牧第2児童公園、茨崎池堤防公園、合計2,807㎡） 【事業費（決算額：R05）】 ・公園管理事業：36,283千円		A	【今後の取組方針】 年2回の草刈委託業務、年2回の樹木消毒業務、年1回の樹木剪定業務を実施し、定期的な緑地の維持管理に努めていきます。 また、樹高が高くなりすぎた樹木について、樹高を揃えるなどの剪定及び伐採を検討していきます。
取組②	公園遊具の適切な維持管理		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 公園内の遊具の安全性を確保するため、公園施設点検管理士による公園遊具の保守点検を実施し、毎年度公園台帳の整理を行います。 また、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施するなど、公園遊具の適切な維持管理に努めます。 【実施内容・成果（R05）】 59箇所の公園の遊具の保守点検を実施しました。 令和4年度の点検結果から5箇所の都市公園、4箇所の町管理公園について、6基の遊具の入れ替え、3基の遊具の修繕を実施し公園台帳の整理を行いました。 また、葛下川右岸堤防公園にて舗装修繕及びベンチの修繕を行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・公園管理事業：696千円 ・公園長寿命化事業：9,008千円		A	【今後の取組方針】 公園内の遊具の安全性を確保するため、公園遊具の保守点検を実施していきます。 また、危険がないよう、職員においても公園遊具の点検パトロールを実施し、公園遊具の適切な維持管理に努めていきます。 町管理公園において、順次公園台帳を整備及び電子化を進め都市公園への認定に努めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

都市環境

令和5年度事業

1. PLAN（計画）

分野	3-6 環境保全	担当課
	⑤ 公園緑地	まちづくり推進課
施策の展開方向	●各地区にやすらぎや憩いのあるポケットパーク等の緑地空間を適切に配置します。 ●町内各公園緑地の適切な維持管理に努めます。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	滝川における清らかな水辺の創造計画の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備によって町内の歴史文化遺産を巡ることのできるネットワーク整備に取り組みます。 【実施内容・成果（R05）】 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いにある芝桜について、開花時期に合わせライトアップを行いました。 【事業費（決算額：R05）】 ・芝桜植栽維持管理事業：999千円 ・滝川遊歩道草刈事業：843千円		A	【今後の取組方針】 整備した歩行者優先道、自転車優先道を今後も良好な環境を保つため、維持管理していきます。